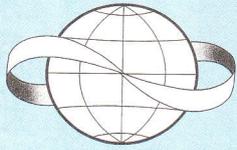


ヴェーナス通信

Venus (静脈) Venus (護美の女神)



商標登録第 4882482 号

第45号

発行 東多摩再資源化事業協同組合
 理事長 紺野武郎 編集長 吉浦高志
 東京都東村山市久米川町1-16-18
 TEL: 042-395-9788
 FAX: 042-395-9787

CO2削減値二五% (90年比)

国際公約の実現を考える。

九月の国連総会で鳩山首相は、我が国のCO2削減目標値を一九九〇年比二五%に定めると国際公約した。

官民の困惑は大きく特に産業界からは、国際競争力や雇用に悪影響を及ぼすと、猛烈なブーイングが聞こえてきた。

「GDPを3.2%引き下げ、失業率も1.3%悪化させ、家計負担は年三六万円増える。」などの試算も報じられた。(後日政府機関より誤りとの指摘あり。)

また先進国が、脱炭素エネルギーで石油消費の削減策を進めれば、安価な石油を途上国が大量に使用し、温暖化や酸性雨問題がさらに深刻になると心配する説もある。しかし、地球の気温は確実に上昇している。過去百年で0.74℃(我が国では1.1℃)上がっており、特に一九九〇年以降は急カーブを画いている。

その原因が、石油などの石化燃料を使用した際に排出されるCO2などの温室効果ガスが主因と見られている。二〇〇〇年から五年間の温室効果

ガス排出量は七二億炭素トンだった。それに対し、植物などによる自然の吸収量は三一億トンであり、今でも五〇%削減しなければ安定しない。

地球の平均気温は現在十四.5℃程度になっていくが、さらに一℃上がれば、百万種の生物が絶滅することも確実だと言う。海水面が上がり陸地が減少し、内陸部は急速に砂漠化干ばつに見舞われる。マラリアリスク・飢餓・極端な水や食料不足などで世界中が苦しむ事態も想定しなければならぬ。一番厳しい削減策を実行しても、二〇五〇年には、平均気温で二℃以上上がるのは確実らしい。さらに地球上の人口が九〇億人を超え、後進国の経済発展が続けば食料もエネルギーも今より三倍は必要になるともいわれている。

世界人口の二〇%に過ぎない先進国が、地球の資源・エネルギーを八〇%消費しているのだ。

先進国の努力なくして何も始まらないとすれば、鳩山首相の国際公約は、科学的根拠に基づいて的を射た発言といえる。

京都議定書で我が国が約束した削減値を二〇一二年までに実行するには、外国からCO2排出量取引で一〜二兆円分買わなければ間に

合わないとも言われている。

となると、今、国内の技術革新に巨費を投じたほうが得策で、日本にはその技術と人材があると思う。産業界としても、経済を活性化しながら可能な環境対策の実行する以外ないわけで、今厳しいペナルティを負うほうが今後の大きな利益に繋がると思う。

省エネや脱化石燃料などの技術革新を官民で最大限の努力をし、百%再利用(リサイクル)可能なもの作りもしなければならぬ。消費者である市民もかなり大胆な手段で対応しなければ持続可能循環型の未来など作れないはずだ。先ず自分たちの生活の中から少なくとも二割程度の無駄をなくし、極力ごみを出さない消費を考える。全国に再生資源の分別回収をする資源回収業者の組織が存在する国は外に無く、世界に誇る我が国の文化であり貴重な財産だ。低コストで高品質の再生資源を生み出すシステムとして、海外からも注目されている。

これからは、省エネや脱化石燃料などの技術革新政策と静脈産業を一層充実させ、発生抑制とCO2削減を重視した各リサイクル法の見直しなども、早急に検討して頂きたい。

(T・K)

ベトナム家庭紙メーカー訪問紀行

J P 資源株式会社 営業部長 佐藤 純

十月の初旬に、ベトナムのハノイ市郊外に新設された、コアレックグループのPULPPLY CO REX (VIETNAM) CO; LTD (パールピーコアレックス(ベトナム)株式会社)家庭紙工場を見学するチャンスに恵まれ、酷暑のベトナムを訪ねた。

〈家庭紙工場について〉

1、歴史…二〇〇六年、工場建設に着工。

二〇〇九年六月、生産開始。七月、販売開始。

2、事業内容…古紙(オフィスパツク)八割、バージンパルプ二割を原料としてトイレットペーパーを製造。

古紙に関しては日本と米国からの輸入品であり、ローカルの調達は行っておらず、今後も上記スタイルにて購入予定。

品質要望はより白い製品が好まれる傾向にあり、白ければ白いほど使いやすいと云っていた。

3、販売先…主にベトナム国内であるが将来的には輸出を視野に入れた販売展開を考えている。

4、現状と課題…業運転開始後間

もないため販路の確立が完全ではないこと、すべての品質要望に対応すべく検討課題が残されていること等の理由により操業自体はフル稼働までには至っていない状況である。今後は、輸出対応を含め販路の確立が大命題となっている。

5、所感…今回の見学で、抄紙マシンの状況、古紙関連の状況、今後の生産における課題等は理解できた。しかしながら一番感じられたのは、古紙は本当に国際マーケット商品であるとの実感であります。日本国内における製品の展開は、少子化やペーパーレス化を考えるとまず右肩上がりの状況は考えづらい現状の中、今回輸出古紙の実情を肌で触れたことにより、世界的マーケットの展望を視野に入れた行動の必要性を再認識した。

〈ベトナムについて〉

1、暑さ

曇天続きではあったが、気温は常に三〇℃を越えており、しかも高湿度ということもあり体力的に予想以上につらいものがあった。ベトナムは日本からの資金援助が多いが故に、邦人でベトナム企業

に従事している方も多いが、ともかくいかに現地の環境に適応するかは体調管理の重要性を感じた。2、バイクの多さ

通勤を含めた移動の手段はバイクが大半であり、それこそ道いっぱいにバイクが走っており、ごちやごちやとひしめき合っている状態が常であった(特にハノイ市内)。交通事故も見かけましたが、彼らにとつては日常茶飯事のためか、いわゆる当事者同士の示談しその場での解決が多いようだ。過半数が女性ドライバーであり、家族単位の二人乗り三人乗りも当たり前といった状況で、日本との生活環境の差を感じた。反面、その活気があり、それがベトナムという新鋭国の力の源泉の一端を現わしているように感じた。

3、歴史について

ベトナム戦争に代表されるように過去幾多となくあった戦争を実感せざるを得ない場面に多々遭遇した。事の是非はともかくとして、諸外国を訪問する際には現状の把握ももちろんだが、その国の基本的な歴史(対日関係のみならず)は勉強して訪問すべきことが最低のマナーであると感じた。

〈後記〉

思いつくままに所感を述べたが、日本という成熟の域に達している国(平均年齢約四十四歳)、ベトナムに代表されるようなまだまだ青年の域を脱しきれない国(平均年齢二十六歳)はおのずとそれぞれの文化、環境、歴史は大きな違いがある。しかしながら、国益を越えて幾多の場面で互いが不足している部分を補完しあうことは、近未来的に考えても避けては通れない事象と考えられる。もちろん製紙産業も益々そのような環境に遭遇する場面がやってくると思われるが、いざその時になって右往左往しないように自分もその相互補完の下支えになれるよう、今後さらなる努力をしていきたい。



ベトナムの家庭紙工場で製造されたトイレットペーパー

困ります！資源物の抜き取り・持ち去り



市の資源回収や、集団回収に出された資源物（古紙・古布・アルミ缶）などの中からいいものだけを抜き取ったり、持ち去ってしまう行為がまだまだ多く発生しています。市や私たち回収業者だけでなく、市民の皆様にとっても困ることがあります。ここでは、こういった抜き取り、持ち去り行為について検証してみたいと思います。

○抜き取り・持ち去り行為のいろいろ

①正規の委託業者以外の業者が古新聞や雑誌類、アルミ缶など回収効率が良く、値段の高いものだけを持ち去っていく行為。トラックやバンが多い。回収日を狙って組織的に行われていることもある。



指定業者表示のない車両



置き場で荒らされたままの雑誌

②雑誌や古布のひもをほぐしたり袋を破ったりして、自分の欲しいものを、古本屋などで売れる本だけを抜き取っていく行為。徒歩か自転車移動することが多い。

資源物置き場を荒らしたまま帰ってしまうので、雑誌などが散乱していることもある。

○市も業者も市民も、何が困るの？

①市や団体の所有物である資源物を正規の委託業者以外が持つて行ってしまった場合、売り払い代金が、市や団体に支払われなくなります。

②いいものだけ抜き取られて、効率の悪いものや値段の安い資源物だけを回収したのでは、正規の委託業者の回収コストが見合わなくなり、回収システムが崩れてしまいます。

③持ち去り業者は、相場が上がった時だけ回収し、相場が下がった場合には回収に来ないので、公共性の高い資源回収業務を維持出来なくなってしまう。

④持ち去り業者は、資源物をどのように処分したのかトレーサビリティが取れません。しっかりと資源リサイクルのルートに乗ったかどうか確認されません。

⑤指定時間以外の時間帯（深夜・早朝）に持ち去り・抜き取りをすることが多く、騒音問題や交通事故のおそれがあります。

⑥資源物の置き場が荒らされ、雑誌などが散乱し、正規の委託業者が回収する際に余計な手間が掛っています。

⑦市民の皆様が出された資源物を不当に荒らされることは、皆様のプライバシーの侵害にもなりかねません。

⑧抜き取り・持ち去り業者はわざわざ遠方から来て、余計な排気ガスをばらまいていきますので、エコではありません。

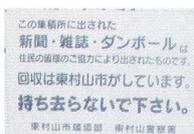
○どうすれば・・・

抜き取り業者、持ち去り業者は、市民の皆様が資源物を出されてから、我々回収業者が回収に向うまでの間、人目につきにくい深夜や早朝に多く現れます。回収開始時間は各市によっても異なりますが、おおむね8時30分か9時位からおおむね8時30分か9時位から

です。前日から出されると狙われる可能性が高くなりますから、回収日の朝に出して頂くのが抜き取り、持ち去りを防ぐ最善策だと思います。また、お近くの自治体だと、東村山市と西東京市には抜き取り防止条例があり、
①市民の皆様が出された資源物の所有権が市に帰属する

②市が指定する業者以外は資源物を回収してはならないと定められています。条例の中に罰則規定はありませんが、市の所有物である資源物を勝手に持ち去ることは、窃盗罪に該当します。世田谷区の条例違反による最高裁判決では、有罪判決も出ています。（※但し、窃盗罪に問うための犯罪構成要件を備えるのが難しいと言われています。）

しかし、持ち去り、抜き取り業者に直接声をかけて注意をすると、反抗したり逃走したりする可能性があります。無理に捕まえようとせず、車のナンバーを控え、可能なら写真を撮って市や警察に通報して下さい。東多摩再資協にご一報頂いても構いません。当組合では、非正規業者との明確な区別をつけるため、委託回収車両であることを示す車両表示や作業員のユニフォームの統一をしています。また、抜き取り・持ち去り防止のための早朝パトロールを行っております。詳しくは、次ページの見聞きをご覧ください。



置き場の看板

資質向上・安全管理に努めています

このような装備をしています☆

★作業員の服装★



のコンパネ
を使用



運転者の会社名・氏名、
連絡先の入った表示板
を掲示しています。

資源物持ち去り
防止パトロール
実施中の横断幕



胸に『東多摩再資協』の刺繍の
入った水色のポロシャツを着
用しています。

ご理解ください

物を抜き取り・持ち去り行為から守
られている東村山市、西東京市におい
実施しています。当組合指定の横断
審車両のパトロールを行いながら先

安全講習会を開催しています

回収に携わる運転手と選別作業に携わる作業員に対し、毎年一度、安全講習会を実施しています。

全国で発生した事象事例に基づき、発生を未然に防ぐための傾向と対策について指導したり、話し合ったりしています。

火災発生時や緊急時の対応に関する訓練の実施や、出勤前の点呼、朝礼等を開催し、日常的に意識を高め、作業上の安全、交通安全に努めてまいります。



東多摩再資協は回収業務の品質

当組合では、市民の皆様と自治体からの信頼と付託を受け、資源回収業務を行っております。平成17年には官公需適格組合の認証を頂き、より一層、回収業務の品質向上、安全管理に努めてまいります。

品質向上のため、安全・行動宣言を定め、組合指定の作業着の着用、車両装備品の取り付けを義務付け、また、受注業務検査を実施しています。

抜き取り、持ち去り対策として、車両への横断幕の取り付けと早朝パトロールの実施をしています。

また、何よりも作業上の安全確保、交通安全の徹底が最優先であるとして、安全講習会の開催や点呼・朝礼等での安全管理を行っています。

○東多摩再資協 安全・行動宣言○

- 1. 私たちは 市民、行政の信頼と付託に応え責任を持って行動します
- 1. 私たちは 笑顔で挨拶、声掛け合って安全作業に努めます
- 1. 私たちは 法令・条例・規約を遵守し 安全運転を励行します
- 1. 私たちは 地球環境、市民生活環境に配慮して 業務を遂行します
- 1. 私たちは 再生資源のリサイクルを通じて地域社会に貢献します

受注業務検査制度

官公需適格組合の認証に伴い、平成17年より年4回の受注業務検査を行っております。検査員は、受注業務に携わる車両や人員に関し、車検証、整備点検、組合指定装備品、免許証、アルコールのチェックなど十数項目にわたって検査を実施しています。

軽微な指摘事項に関しても直ちに是正勧告を出すことで、受注業務の適正化と品質向上に努めています。

回収業務の検査に当たっては、回収作業を一時停止して行うことがあります。道路交通の妨げにならないよう細心の注意を以って行っておりますので、ご理解・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



☆当組合の指定車両は下記



オレンジ
(あおり板)

市の指定業者であることを示すステッカー
(左右と後ろに貼付)

早朝パトロール

市民の皆様が出された貴重な資源のため、抜き取り防止条例の制定さて、午前7時より早朝パトロールを幕やステッカーを付けた車両が、不行回収を行っております。

市の指定時間である8時30分前に回収を行います。8時30分以降にもう一度回りますので、資源物は、朝8時30分までに指定の場所にお出し下さい。

ヴィーナス通信

●当組合の紺野理事長が講演

「市民ごみ大学セミナー開催」
 去る七月四日(土)、NPO法人「ごみ・環境ビジョン21」主催の市民ごみ大学セミナーが開催された。

テーマは、「再生資源のグローバル化と価格変動を踏まえて」からの資源循環を展望する。

講師は、当組合の紺野理事長(日資連会長)の他、環境省リサイクル推進室の上田康治室長、小平市ごみ減量対策課の西稔(にしねじ)典昭課長の三名。

講演内容は次の通り。

(1) 上田室長：容器包装リサイクル制度の現状と課題、最近のペットボトルの市況変化への対応と効果。

(2) 西稔課長：小平市における清掃・リサイクル事業、ペットボトルの独自ルートによる有償売却に至った経由の紹介。

(3) 紺野理事長：回収現場の立場から、各資源物の最近の価格変動の提示。3R推進の課題として、①市況に左右されない循環型リサイクル事業の構築、②地元業者が参入しにくい入札制度の見直しと、

各地域内でのリサイクルネットワークシステムの拡充を提案。更に、資源小国日本が資源物を大量に輸出している現状と、環境保全の立場からも大量消費の抑制の必要性をアピール。



セミナーで講演する紺野理事長

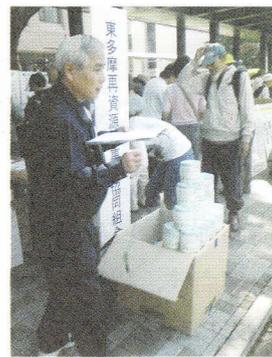
●各市リサイクルフェア・市民祭りに参加

市民祭りに参加

去る九月から十月にかけて、各市のリサイクルフェア・市民祭に参加し、市民と交流、資源リサイクルに関する説明や当組合のPR等を行った。

九月十二日(土)の小平市エコフェスティバルと十月十八日(日)の東村山市リサイクルフェア・清瀬市市民祭では、主に古紙リサイクルについてのクイズ・アンケート等を実施、御協力頂いた市民の皆様、古紙や古布の分別方法の解説や、当組合が独自で販売して

いるトイレットペーパー「ブーメラン」の普及活動をした。



東村山市リサイクルフェア

コラム "カムカムコーナー" ぜび行って見てください

ください

●戦争の傷跡を残した変電所
 東大和市の市民が市内に残しておきたい景観を20箇所選んだ場所を「東やまと20景」といいます。20景のうち、私が一番残しておきたい景観は、都立東大和南公園です。場所は西武拝島線の玉川上水駅から徒歩10分ほどの距離にあります。

日頃は市民が普通に運動したり、散歩したりしている公園の一角に、壁面いっぱいには生々しい弾痕を残した建物があります。これは、旧日立航空機機変電所です。無数の弾痕は、米軍機の機銃掃射や爆撃によるもので、この空襲でたくさん尊い命が奪われました。私は、亡父に戦争体験を聞いて



都立東大和南公園内に
ある弾痕生々しい旧変電所

いたので特に残しておきたい景観になりました。戦後60年たち、戦争体験者が高齢化していくなか、この悲惨な戦争を風化させず、次世代に伝える建物です。先日、「核兵器なき世界」でノーベル平和賞を受賞したオバマ大統領には「戦争のない平和な世界」を目指して一層努力をして頂きたい。皆さんも、夫婦で、子供をつれて、又、孫をつれて、散歩がてら公園に足を向けてみてください。

(原口)



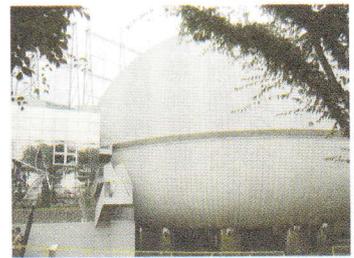
●多摩六都科学館

皆さんは「多摩六都科学館」という施設をご存知でしょうか？スカイタワー西東京に隣接する場所にある、一風変わった建物です。

小平市・東村山市・清瀬市・東久留米市・旧田無市・旧保谷市の六市が共同で開設した世界最大級のプラネタリウムを要する私の地元ではちよつと自慢の施設です。一度娘にせがまれ私も見学しましたが、これが大人も十分に楽しんでびっくりです。

「サイエンスエッグ」と呼ばれるドームスクリーンにプラネタリウムと全天周映画と呼ばれる映像が映し出されるのですがこの迫力がまた圧巻！3Dの作品なども上映されています。

体験コーナー・実験コーナー・展示室・スタンプラリーなど盛りだくさん！これで入場料は大人セツト券で1400円子供はたったの500円！一日遊べてこのお徳感は浦安の何とかランドよりコストパフォーマンスは魅力的！唯一残念なのは駐車場代が子供のチケット代より高い700円でした。お近くの方は散歩がてら徒歩での利用をおススメ致します。



西東京市・多摩六都科学館

幼稚園や保育園、小学校の遠足などにも利用される為、朝や夕方になると多くの子供達の行列が私の会社の前を通り過ぎてなぜかほつとした気分になさせてくれます。ちなみに私の娘も保育園の卒業遠足でこの施設を利用していただきました。

ムード満点のプラネタリウムは若いカップルに、もちろん家族連れにもびったり。是非一度足を運んでみてはいかがでしょう。

(福田)

官公需適格組合の周知徹底と更なる活用を

～平成二十一年度第一回
官公需問題懇談会開かれる～

十月十九日午後二時三十分より、中央区銀座にある中小企業会館において、中央会の原田振興課長等三名の他、東京都産業労働局、関東経済産業局の担当者が出席し行

われた。当組合からは、吉浦専務理事が出席。始めに稲垣事務局長より「官公需適格組合」を取得しているのに発注者である行政側担当者の認識にばらつきがある為、官公需受注に対して問題がおきて

いる。十一月九日に五十三区市町村百六ヶ所の受注担当者を迎えて、第二回懇談会を開き、本日の意見をまとめて担当者に説明していくと話があった。次に松本産業部下請係長より、国の官公需施策の概要について説明があった。法的根拠として中小企業基本法の中で、

「中小企業の経営基盤強化策」のひとつとして位置付けられ、受注機会の増大を図るよう定めている。又、官公需法に基づき、毎年度中小企業受注機会増大のための施策などを「国等の契約の方針」として取りまとめ、これを閣議決定して、公表している。官公需法第七条の規定に基づき、地方公共団体においても国の施策に準じて努力するように、毎年経済産業大臣から各都道府県知事あてに文章で通知(要請)している。通知(要請)の主な内容は、

①「国等の契約方針」を参考として、地域の実情に応じて、中小企業者の受注機会の増大のための措置を講じること。

②上記措置の一つとして、官公需適格組合等の積極的な活用を行うこと。

③各市町村に対し、周知を行う事。閣議決定された平成二十一年度契約方針の内容の一つに

・中小企業の受注機会増大の為の措置(十七項目)というのがあり、項目の中に「官公需適格組合等の活用」が書かれている。又、「地域の中小企業の適切な評価」という項目があり、価格だけの競争ではなく、地域への貢献度も適切に評価すべきであるとの話であった。

続いて東京都から片山係長が国の方針に基づき、官公需適格組合をはじめとする組合等を積極的に活用すること。官公需適格組合制度については、その一層の周知徹底を努めること、等の話があった。最後に組合からの要望事項等の発表及び意見交換、質疑応答があった。内容のほとんどが受注担当者の「官公需適格組合」に対する理解、認識の希薄による問題であった。

本日の意見要望を生かすため、十二月九日の第二回懇談会に各地域の受注担当者の方にぜひ参加して頂くよう要請してほしいとの事であった。

(吉浦)

EU諸国では、経済を発展さ

せながらCO2等を削減して

いる。(1990～07年)

【GDP】 【CO2】

デンマーク	45%増	13%減
フランス	38%増	3%減
スウェーデン	44%増	9%減
ドイツ	30%増	21%減
イギリス	53%増	18%減
アメリカ	59%増	14%増
日本	22%増	8%増

(注) ドイツ・イギリスは温室効果ガス(GHG)で表示

各国ともGDP(国民総生産)は伸びているが、アメリカと日本以外はCO2やGHGを削減している。新エネルギー技術や省エネ省資源技術、さらには環境税などを積極的に取り入れて自然再生に成功している。

行事・行動

【平成二十一年六月】

- 七日.. 東大和市リサイクル祭り
- 八日.. 東資協理事会
- 一〇日.. 紙容器R推進協・総会
- 一一日.. 定例理事会
- 一三日.. 東久留米市リサイクル祭
- 一四日.. 東久留米市リサイクル祭

- 一五日.. 古紙C理事会業務委員会
- .. RC安全会議
- 一三三日.. (社) 東リ協会理事会
- 一九日.. クリンジャパンC理事会
- 二六日.. 中小企業中央会役員会
- 二九日.. 青年部会議
- 三〇日.. 西東京市廃棄物審議会

【七月】

- 一日.. 青年部会議
- 四日.. 市民ごみ大学セミナー
- 八日.. 東資協・理事会
- 一〇日.. 定例理事会
- 一四日.. 古紙回収推進特別委員
- .. RC安全会議
- 一六日.. 西東京市廃棄物審議会
- 一八日.. 日資連理事会
- 二二日.. (社)東リ協会理事会
- 二三日.. 青年部会議
- 二五日.. 西東京環境祭
- 二六日.. 西東京環境祭
- 二八日.. 西東京市廃棄物審議会
- 三一日.. 家族リクリエーション

【八月】

- 三日.. (社)東リ協会渋谷区懇
- 六日.. 広報委員会
- 七日.. リサイクルC納涼会
- .. 東資協理事会
- 一〇日.. 西東京市廃棄物審議会
- 一一日.. 定例理事会
- 一二日.. RC安全会議
- 一八日.. (社) 東リ協会理事会
- 二五日.. 西東京市廃棄物審議会

- .. リサイクル議員懇談会
- 【九月】
- 一日.. 青年部会議
- 六日.. 東北資連・総会
- 七日.. 西東京市廃棄物審議会
- 八日.. 東資協理事会
- 一日.. 定例理事会
- 一二日.. 小平市エコ祭
- 一四日.. 業務委員会
- .. RC安全会議
- 一八日.. 東村山市廃棄物審議会
- 一九日.. 日資連理事会
- 二五日.. 西東京市廃棄物審議会
- 二七日.. 関資連・総会
- 二七日.. 古紙C業務委員会

【一〇月】

- 七日.. 西東京市廃棄物審議会
- .. 官公需共同検査委員会
- .. 広報委員会
- 八日.. 東資協理事会
- 一二日.. 定例理事会
- 一三日.. 古紙回収推進特別委員
- .. RC安全会議
- 一八日.. 東村山市リサイクル祭
- .. 清瀬市市民祭
- 二〇日.. (社)東リ協会理事会
- 二二日.. 広報委員会
- 二六日.. 古紙C業務委員会
- 二八日.. 全原連総会(静岡)
- 三〇日.. 紙リサイクルセミナー
- .. 青年部会議

編集後記

ベトナム紀行文をご寄稿下さったJP資源佐藤様、ありがとうございました。拜読中に私もベトナムに研修で訪問した時の事が頭に浮かんでまいりました。

道路にひしめきあうオートバイの集団と活気ある人の動き、商店の様子などを見て、自分の子供のころを思い出しました。

日本国内で消費できない再生資源がこれから伸びる国の人たちに利用されるのは、大変ありがたいことだと思います。

世界中から輸入して来た資源やエネルギーの再生品であり、無駄にはなりません。

前回から始めた「カムカムコーナー」はいかがでしたでしょうか。

読者の皆様には是非行って頂きたい地域自慢ですが、私の所にも自慢する所があると思われましたら、是非、組合事務局にご連絡ください。

寒い季節が近づいてまいりました。風邪、インフルエンザにかからない様に気をつけてください。

(吉浦高志)